

- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が4例(60歳代男性, 70歳代女性2例, 80歳代女性1例)(第19週追加報告分1例含む)あり, 本年の累積報告数は42例となりました。
京都市では, 「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html>
- ・ **梅毒**の報告が1例(20歳代女性)あり, 本年の累積報告数はすでに34例となりました。
コンドームの使用や, 不特定多数の性的接触を避けるなど予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見, 早期治療が非常に重要です。
梅毒の感染経路や治療, 予防等に関しては, 下記ホームページを御覧ください。
○京都市情報館「京都市衛生環境研究所にゆーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何?」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175313.html>
- ・ **風しん(臨床診断例)**の報告が1例(男性, 30歳代)あり, 症状は発疹, 咳, 鼻汁, 結膜充血, 発熱, リンパ腫腫脹, 関節痛, 関節炎です。感染経路は国内で, 感染経路は飛沫感染です。本年初めての報告となっています。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は8.00となり, 先週の7.07から増加し本年で最も高い値となりました。

◆ 今週のトピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は0.26(11例)となり, 前週の0.02から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 6例(肺結核 4例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者なし)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 130例(肺結核 53例, その他結核 33例, 潜在性結核感染者 44例)うち喀痰塗抹陽性 26例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 42例】
- ・ 五類: 梅毒1例【1月以降の累積報告数 34例】
- ・ 五類: 風しん(臨床診断例) 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.23	16
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.00	344
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.42	61
	③ 突発性発しん	0.56	24
	④ 水痘	0.28	12
	⑤ 手足口病	0.26	11
眼科	流行性角結膜炎	1.00	10

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <手足口病>

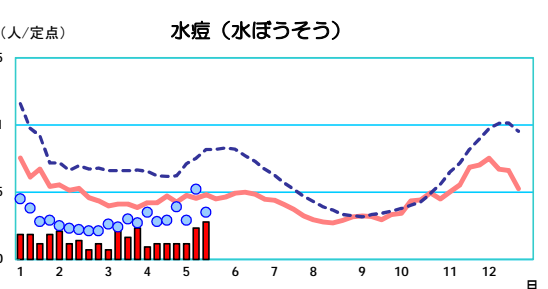
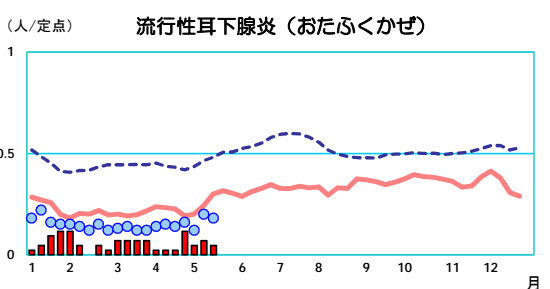
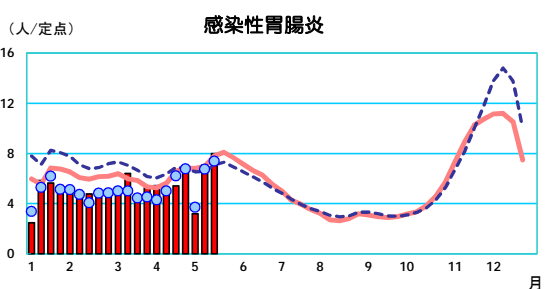
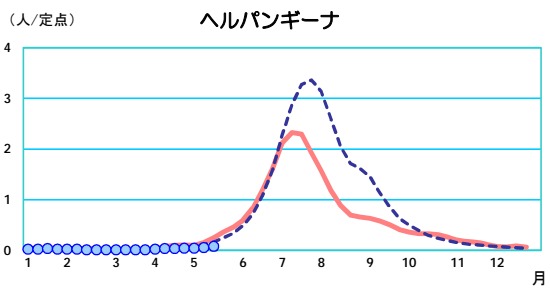
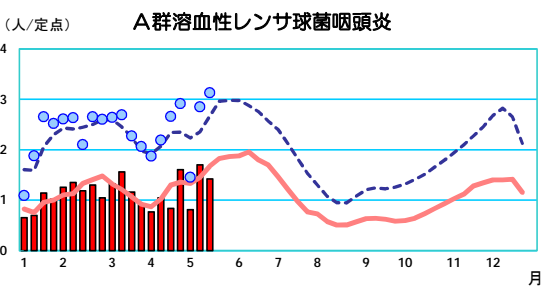
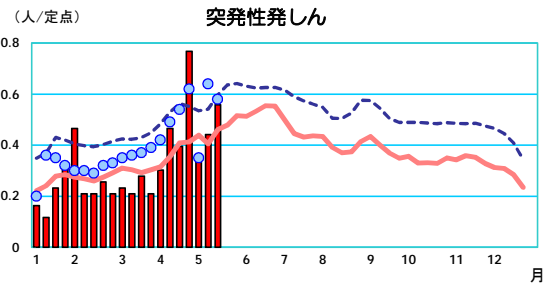
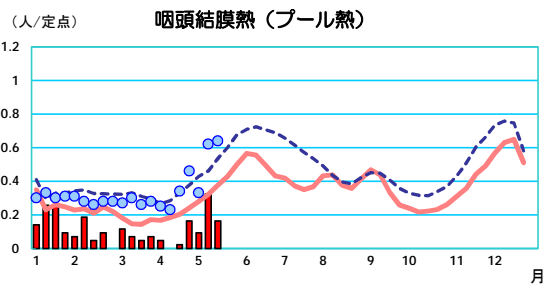
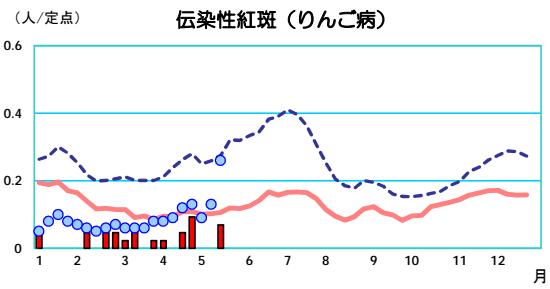
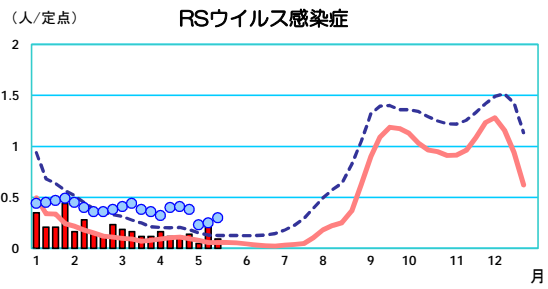
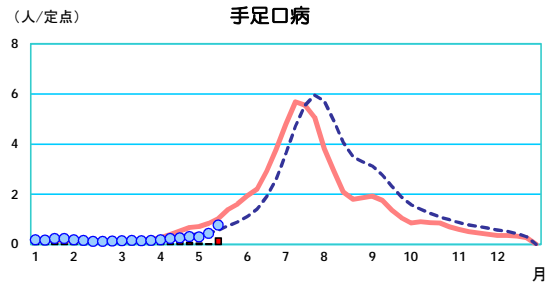
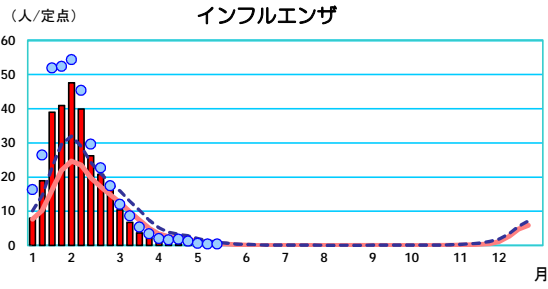
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成30年5月23日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第20週(5月14日～5月20日)トピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は0.26(11例)となり、前週の0.02から増加しました。全国でも0.76となり、前週の0.43から増加し、全国5年平均値を上回りました(図1)。都道府県別の定点当たり報告数をみると大分県、宮崎県、鹿児島県では警報開始基準値である「5」を超えました。九州地方ではすでに流行が始まっており、推移状況を見ると1、2週間で一気に報告数が増加する傾向が見られます。近畿2府4県ではまだ報告数は少ないですが、動向に注意が必要です(図2)。

京都市の過去3年の年別発生状況を見ると、平成27年に大流行し、平成29年にも警報開始基準値「5」を上回りましたが、いずれの年も5月から報告数が増加し、8月ごろにかけて流行しています。本年は過去3年と比べ最も低い報告数となっていますが、過去の状況から今後流行が予想されますので予防に努めてください(図3)。

手足口病は、ウイルス感染によって起こる感染症で、乳幼児を中心に主に夏に流行し、京都市でも本年の報告数の8割近くを0～2歳児が占めています(図4)。主症状として、感染してから3～5日後に口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。また、発熱は患者の約3分の1にみられます。

患者の便の中にはウイルスが含まれます(2～4週間)ので、予防方法としては手洗いをすること、排泄物を適切に処理することが大切です。保育施設等では感染を広げないために、タオルの共用を避けましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

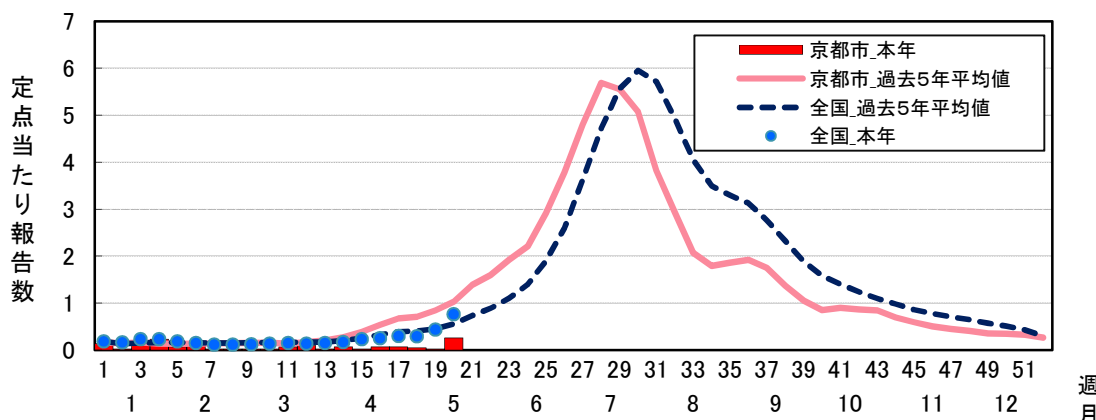


図2 都道府県別の定点あたり報告数の推移

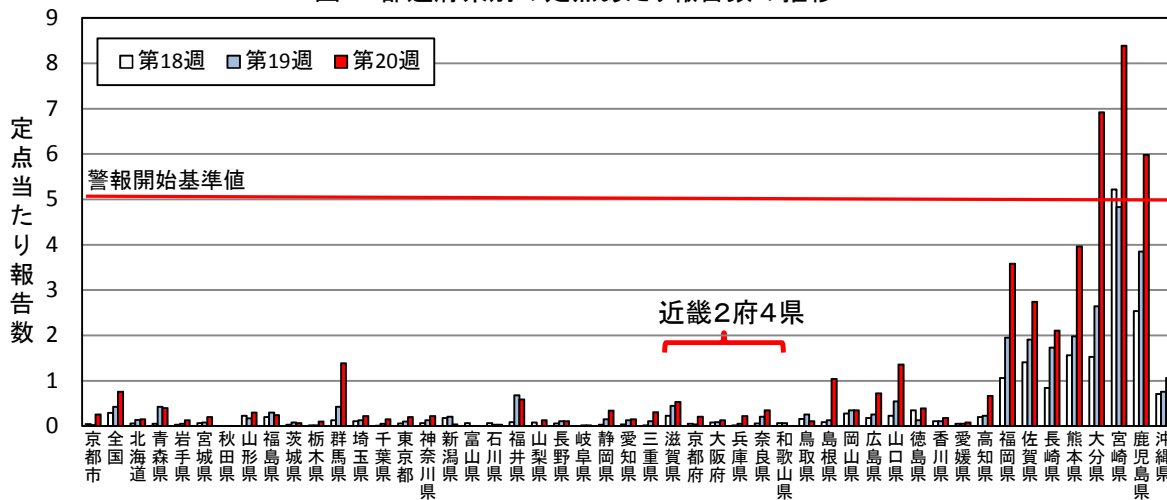


図3 京都市の年別発生状況
(平成27年～平成30年第20週まで)

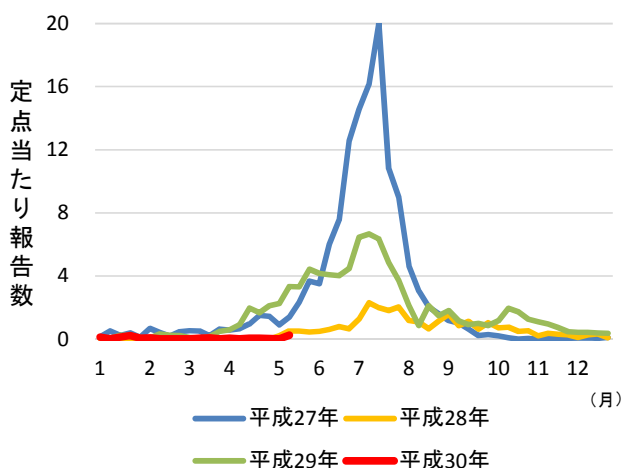
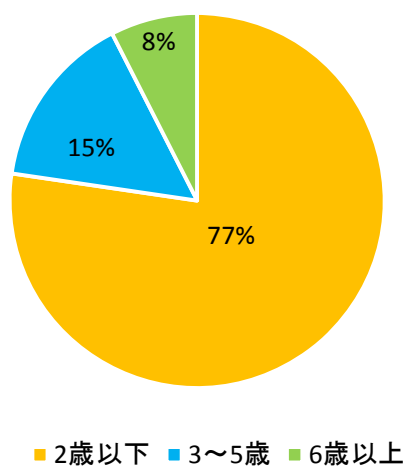


図4 京都市の年齢別割合
(平成30年第1週～第20週まで)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第20週

疾病,行政区別報告数

平成30年5月14日～平成30年5月20日

データ入手日:平成30年5月23日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	1	1	3	1	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
北	-	-	1	1	3	1	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-
上京	1	-	-	8	9	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	1	-	-	7	76	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1	16	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	2	4	1	8	14	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	1	-	-	5	15	5	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	2	-	4	8	81	1	5	-	5	2	1	-	4	-	-	-	-	-
伏見	7	-	1	10	78	2	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	2	-	-	13	34	2	2	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	16	4	7	61	344	12	11	3	24	3	2	-	10	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	0.25	0.25	0.75	0.25	-	-	-	-	-	-	6.00	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	0.25	0.75	0.25	-	-	-	-	-	-	6.00	-	-	-	-	-
上京	0.20	-	-	2.67	3.00	0.33	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	0.14	-	-	1.75	19.00	-	-	0.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	4.00	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	0.50	8.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	0.29	0.80	0.20	1.60	2.80	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	0.20	-	-	1.67	5.00	1.67	0.33	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	0.25	-	0.80	1.60	16.20	0.20	1.00	-	1.00	0.40	0.20	-	4.00	-	-	-	-	-
伏見	0.64	-	0.14	1.43	11.14	0.29	0.14	-	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	0.25	-	-	2.60	6.80	0.40	0.40	-	0.80	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.23	0.09	0.16	1.42	8.00	0.28	0.26	0.07	0.56	0.07	0.05	-	1.00	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第20週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年5月14日～平成30年5月20日

データ入手日:平成30年5月23日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	16	-	-	-	5	1	3	1	1	-	-	-	1	-	-	2	2	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	4	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		7	-	2	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		61	-	-	1	5	5	7	5	11	6	2	6	10	-	3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		344	-	30	52	38	37	31	31	22	15	17	6	23	11	31	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	1	2	1	-	2	2	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		11	-	-	3	4	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		24	-	13	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	10	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	1	1	1	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.23	-	-	-	0.07	0.01	0.04	0.01	0.01	-	-	-	0.01	-	-	0.03	0.03	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.09	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.16	-	0.05	0.07	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.42	-	-	0.02	0.12	0.12	0.16	0.12	0.26	0.14	0.05	0.14	0.23	-	0.07	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		8.00	-	0.70	1.21	0.88	0.86	0.72	0.72	0.51	0.35	0.40	0.14	0.53	0.26	0.72	-	-	-	-	-	
水痘		0.28	-	0.02	0.05	0.02	-	0.05	0.05	-	-	-	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	
手足口病		0.26	-	-	0.07	0.09	0.05	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.07	-	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.56	-	0.30	0.19	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流行性角結膜炎	1.00	0.10	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10		
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第20週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年5月23日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	52	37	41	14	15	16
RSウイルス感染症	5	5	6	2	9	4
咽頭結膜熱	-	1	7	4	14	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	36	69	35	73	61
感染性胃腸炎	217	233	285	137	304	344
水痘	5	5	5	5	10	12
手足口病	1	3	3	2	1	11
伝染性紅斑	-	2	4	-	-	3
突発性発しん	20	17	33	15	19	24
ヘルパンギーナ	1	2	1	2	-	3
流行性耳下腺炎	1	1	5	2	3	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	2	7	4	2	10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	351	344	466	222	450	497

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.75	0.54	0.59	0.20	0.22	0.23
RSウイルス感染症	0.12	0.12	0.14	0.05	0.21	0.09
咽頭結膜熱	-	0.02	0.16	0.09	0.33	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.05	0.84	1.60	0.81	1.70	1.42
感染性胃腸炎	5.05	5.42	6.63	3.19	7.07	8.00
水痘	0.12	0.12	0.12	0.12	0.23	0.28
手足口病	0.02	0.07	0.07	0.05	0.02	0.26
伝染性紅斑	-	0.05	0.09	-	-	0.07
突発性発しん	0.47	0.40	0.77	0.35	0.44	0.56
ヘルパンギーナ	0.02	0.05	0.02	0.05	-	0.07
流行性耳下腺炎	0.02	0.02	0.12	0.05	0.07	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.20	0.70	0.40	0.20	1.00
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	8.01	7.83	11.02	5.35	10.49	12.19

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。